

黒字 2018 年第 51 回

青字 2019 年第 52 回

赤字 2023 年第 56 回

### 縣陵東京同窓会総会・懇親会総括

#### ●出欠案内と締切等の設定

	6/9 開催	6/8 開催	6/10 開催
申 込	5/11→5/23	5/31→6/4	はがき 5/22 HP5/31
振込期限	5/18→5/31	同上	はがき 5/24 HP5/31
キャンセル料発生	6/9～	6/8～	6/5～

- ・当初の期限設定が早すぎか？

⇒第 52 回は、上記の通りで実施。最終的に両期日を 6/4 (火) とした。

- ・第 56 回は日程については特に不具合等はなかったと思われる。

#### ●はがき（及び会報）について

- ・はがきは 100 周年記念懇親会出欠意向と一般的なアンケート入り。

- ・制作費を除く印刷・発送・受信に要する費用 (2,500 部として)

会報印刷費&会報等発送費	365,000 円	会報とちらし印刷 125,000 発送 240,000
はがき 印刷費	12,500 円	@5 円
はがき 個人情報保護シール	48,000 円	≒@18.7 円 再剥離可なら≒1 万円安い
はがき 私書箱開設	16,000 円	
はがき 料金後納費用	19,800 円	≒@63 円 315 通 (5 年間の平均)
計	461,300 円	会報&はがき 2,500 部当たり@184 円
うち はがき関係のみ	96,300 円	返信はがき 315 通あるとして@305 円

- ・はがきは出欠確認以外に最新の会員情報収集あるいは会員の声を拾う、総会・懇親会に留まらないツールだが、**受領が有料** (料金後納)。第 51 回 22,484 円 (345 通)、第 52 回 26,334 円 (約 500 通くらいか)。50～60 円かかっている。

- ・返ってきたはがきの実績は `16 年 401、`18 年 345、`19 年 363、`22 年 224、`23 年 241 通

⇒**はがきをできるだけやめる方向を!**あるいは、少なくとも来年以降は**各自切手を貼ってもらう**ことに改めたい。

現行：はがき、会報一斉に 一点発信元から各会員へ

改革：一部上記は残す (70 歳以上 (2023 年なら 21 回生より上)

それ以外は回期幹事からの案内 (会報は PDF で)、とりまとめ、返信

- ・会員情報のフィードバック (WEB 申込も共通) 誰がどう整理するか。

⇒実行委員会は出欠と出席の方の属性をリスト化まで。以降は同窓会として整理。

#### ●会報あがた

- ・ 会報制作にかかわるコストは基本的には広報委員会で計上されるべきで、「実行委員会に任された枠（今年であれば全担任による寄稿）」については実行委員会の予算枠で取り扱うのが適切と考えます。広告掲載対応についても、実態は広報委員会の1スタッフとして動いているだけで、実行委員会として何かしらの意思入れをしているわけではないと考えています（実行委員意見 0615）。
- ・ 第 57 号 2024 年は創立 100 周年の翌年で、100 周年記念関係の記事も考えられるので、早めに検討を開始したい。

#### ●WEB 申込み

- ・ 出席申込みが確実にカウントされたか確認の手立てがない。問いかけられた場合実行委員会の担当が回答していた。自動応答を考えられないか費用など含め広報とも要調整。
- ・ 第 52 回は実行委員会 4 人が分担して対応した。が、迷惑メールに分類されてしまうケースがあるなど、苦勞した。⇒自動応答については進捗なし。
- ・ 実行委員会が作成した WEB による案内フォームを広報 HP 担当に依頼して掲示だったと思うが、実行委員会が掲示した。その回答データの扱いについて？（既出）

#### ●来賓の出欠

- ・ 関西同窓会会長田中様、県東京同総連事務局長倉沢様 5/22 出席返信。
  - ・ 松商校友会井口会長欠席、赤岩副会長出席の判明は 6/5。
  - ・ 来賓のお名前、出欠の確実な捕捉。実行委員の以前に役員レベルで確実に。
- ⇒渉外委員会との連携を今一度構築する。
- ・ 第 52 回 案内状 5/13 に発送。回答期限 5/22 とした。  
渉外委員会との連携比較的スムーズ。お礼状を出すに当たり、その送り先を事前に把握する手段の検討を要する。関西同窓会と松商京浜校友会は代理的な方ご参加。恩師は 1 名。
  - ・ 案内状 5/9 発送。対象者からの回答返信を求めないこととした。
  - ・ 3/24 頃来賓予定者 FIX、その後特に出欠（代理あり）の情報がなかった。が、代理出席の旨 5/13 実行委員会に 1 本、5/14 渉外委員会に 1 本あり。
  - ・ 代理の方への案内状を出した。が、来年以降は出さない。もしくは「代理の方の出席になる場合も改めて案内状はお出ししませんので、あしからずよろしくお願い申し上げます。」を入れる。
  - ・ 来賓の車代、手土産についても一定の議論あり。
  - ・ 実行委員会としては同窓連・僚友校の来賓は「遠い」。もう少し軽減できないか。

#### ●当日準備

- ・ 第 52 回 9:30 集合 会場設営、資料袋詰め 概ね順調。人手は大事。
- ・ 実行委員 10 時集合 概ね順調であったかと思う。

## ●受付

- ・領収証を求める方多数。予めの用意が十分だったか。  
⇒同窓会印鑑あるはず。予め領収証の用意をしよう。
- ・第 52 回 領収証の必要はどの程度であったか？  
会費納入のコーナーを特に際立たせては用意をしなかった。
- ・100 周年記念事業の寄付コーナーを設けた。
- ・来賓の「記帳」をなくした。

## ●総会

- ・第 52 回 例年より出席者多数。来期は「ぜひ多数の出席を！席は自由です」を事前アナウンスしたい。
- ・書記は 2 名必要か、の議論あり。しかしながら従来通り 2 名としてきた。
- ・実行委員会より、書記について空記録の問題、及び次期実行委員に依頼することの是非について指摘あり。  
⇒実態として記録を残し、公表もすることに改めた。書記担当は変わらず次期実行委員にお願いすることとした。

## ●タイミング（予定と実施）

- ・総会の議長団選出までは予定通り。

	予定	実施	第 52 回	第 56 回
役員改選		12:58～	—	—
議長団解任	12:56	13:04	13:40	12:56 その後 100 周年記念目録
閉会の辞	12:58	13:05	13:05	13:00
閉 会	13:00	13:07	13:07	

- ・総会は万一質疑があったら時間アウト。開始時刻を早めるなど、時間に余裕を。

懇親会入場	13:10		13:10	13:08
来賓入場	13:18	13:25	13:20	13:19

- ・懇親会の入場促しは課題。久しぶりに会う方々同士どうしてもロビーにたむろ。拡声器なりロープで入場促しを検討したい。⇒52 回概ね良好

	予定	実施	開会	予定 13:28	実施 13:27
懇親会来賓祝辞	13:32	13:37	東京会長 3 分、会長 8 分、校長 10 分		
乾 杯	13:38	13:42	13:50		13:35

- ・5 分ほどの遅れも、本郷副会長、杉村校長の挨拶についてはご本人の多大な配慮、時間を限られていることをむしろ話題にする機転を頂き、深く感謝。遅れ時間が広がらなかった。
- ・会長、校長の挨拶が長かったが、特に後者については存分に拝聴すべき内容があった。校長も慣れたか。来年は同様にこの時間を十分にとる必要がありそう。

⇒「総会の席は自由となっています。」のアナウンスを忘れないように。

- ・総会における会計報告について、数字の逐一を報告する必要はないのではないか。むしろ一般会計と特別会計の違いや仕組みなど、どのような内容で成り立っているのかといった解説をするの方が興味をもってもらえるのではないかと。という意見あり。
  - ・各種のタイムコントロールは首尾よくいった。むしろ総会の時間に余裕ができた。来賓などの挨拶はひたすら「短く」だった。
  - ・総会は 12:30～13:15 としているが、不測の質疑応答やその年ならではの報告などに備えて今後は例えば 12:15～とするなど、時間を広くとるのがよいと思われる。
- ⇒「総会・懇親会」と「会」は一括の行事とする。つまり両者を分けず、例えば 12:30 開始、16:00 閉会のみとする。
- ・一般会計と特別会計の違いについてわかりやすい解説が欲しい。

## ●宴席

- ・来賓控室をなくし、本会場内に待機コーナーを設けた。40,000 円弱の費用削減。  
お茶出しを実行委員が担当を予定してくれていたところ、会場スタッフに頼んだものの来賓の入場はタイムラグがあるので実行委員にお願いしておくべきだった。
- ・来賓の座席表（札）について、当日バタバタした。貼付に苦勞。お一人分忘れた（森本）こともあり。来賓の中には総会→懇親会と席が移動するため戸惑いも見られた。
- ・酒が不足した。持ち込みの可否は？

⇒事前に持込み可能数量の確認、有志募りの手配などを行う。

2017 年：125,024 円 2018 年：88,146（3 万円追加した結果） 2019 年：54,241 円

第 52 回は前年の教訓から持込酒を増やしたが、それでも足りない感じ。日本酒はどれだけあっても無くなる？どれほど飲むのよ！予定数量の見極めが非常に難しい。

- ・テーブル NO プレートは宴の最中撤去された。配膳の都合上致し方ないか。が、誰が何番テーブルか確認したいニーズは宴席が始まってからもありそう。

⇒同感の声あり。第 52 回はテーブル NO プレートを残したのはよかった。

- ・来賓席を二つ用意。席札について、従前は席前の△型のものと椅子背面の札と 2 種類を 40 人ぶんほど用意したが、前者を来賓のみ用意するだけにした。該当者がどこに着席するかは従来通り十分事前に検討のうえ。
- ・60 歳以上の比率（それぞれ実行委員会の年次参加者を除いている）  
第 51 回 52.2%、第 52 回：68.6%、第 56 回：48.8%
- ・第 56 回の女性参加者比率は 60/210 人の 28.5%だった。

## ●企画など

- ・「ふるさと納税」十分な位置づけで実施できたか。継続という発想あれば引き続き要検討。

⇒支援する会からの働きかけがあったので応じたが、物販は断った。100 周年記念事業との関

係で、そこが中心になってもいいかもしれない。募金 57,042 円集まった。

- ・今年 は物品の販売等は行わなかった。鹿児島の高校で、900 人着席形式の会でロゴ入りりかちゃん人形を販売し、売上げを学校に寄付した例があるとのこと。
- ・突発的に登壇する希望者があり、司会を中心に苦労した。今後もあり得る。
- ・予定外の登壇は第 56 回でもあった。

## ●その他

- ・実行委員会として「印鑑」を管理する必要に迫られる。そのありようを確認したい。
- ・配布名簿は必要か。ドタキャン、ドタ参加を反映できない。「◇月▽日現在です」として余裕をもって仕上げてもらってもいいか。色紙である必要？

⇒当日配布する名簿は「◇月▽日締切分までです」と表記でよい。

第 52 回も直前（前々日くらいまで）の情報を反映してくれた。

- ・懇親会。着座形式は支持者多いような印象。最若年層を真ん中のテーブルに配置したこと、同期できるだけ同じテーブルもいいのではないか。
- ・ドタ参加については、専用のテーブルをひとつ用意してもいいかも。
- ・葉書の申込について

実行委員にとっては非常な負担である。葉書申込を廃止できないか。

私書箱ではなく、実行委員個人の自宅とせざるを得なかった。結果その電話番号が配布した 3,300 人に知れ渡ることとなった。電話番号を変えざるを得ないところまで考える。

- ・松本からのバス代高騰あり負担増に。松本からの寄付 20 万円（一般的な寄付 10 万円+41 回生よる補助 10 万円）に対し、東京同窓会としてバス借上げ 14 万円支出。特例として承認。来期（以降）もバス代は高値安定しそうであり、同様の憂慮はありうる。課題。
- ・来賓の控室。懇親会から出席される方は、ジャストその時刻を狙って来場頂くことによって割愛できるのではないか？36,072 円が浮く。総会～懇親会通しで出席される来賓は会場に居続けてもらう。（佐藤会長の提言）
- ・若年層、特に 50 回生以降の参加が例年非常に少ない。呼び込むために何が必要で、どのように呼びかけるのか。
- ・母校若い先生が学校の紹介を各席に回って行っていたのは非常に良かった。
- ・告知なし欠席 事前納金済 3 名。会費未納 3 人。ドタ参加 1 人（直前キャンセル（キャンセル料対象ならず 1 人と入れ替えできた）
- ・学校案内、「縣陵の近況」は従来通り実行委員会手配。学校とのリレーション平素ないなかで、課題ではある。

所見 2023 年 6 月 総会・懇親会に限らず全般に感じること

## ●幹事

- ・ 回期幹事の活用を。  
いわゆる「幹事会」としての日ごろの連絡等において、回期幹事はどれだけの役割を果たしているか。「幹事会」発にどれだけの返信があるか。各期メールや SNS などのつながり具合はどのようであるか。年次によっては回期幹事から会報 PDF 送りや総会・懇親会出欠まとめをしてもらうなど。
- ・ 回期幹事が機能していない代があるという。他の「まとまり」をも模索してはどうか。  
高校時代の部活、クラブ  
出身中学（出欠回答数上位清水 24、信大附属、女鳥羽 17、旭町、丸の内 16、筑摩野 15、丘、塩尻、鎌田 14…） 居住地 すぐ近くに同窓がいた。職域幹事は難しそう。

### ● 会報、はがき

- ・ 返信はがきの個人情報保護シール  
時勢。剥離不可を使ったが、剥離可でもよいように思う。シールを用意したが、はがきの返信数は特に増えていない。  
同シールを貼った返信 170 / 総返信 240 / 総送付数 2,500 =  
2,500 通用意して 10% しか返ってこないはがき、個人情報保護シール利用は 6.8%。  
基本なくすべき。
- ・ 会報の電子配布化を。

### ● 来賓

- ・ 説明はもらって理解はできるものの、実行委員会からは遠い。
- ・ 出席依頼とともに送る「回答書」を割愛。代理出席者には新たに案内しない。本案内状に「代理の場合もその方に案内はしないこと」を記載する。
- ・ お礼状 他校はないという。  
こういった情報そのものが積極的に伝わってこない。

### ● 総・懇分離 第 56 回は要するに「懇親会をやりたかった」だけ。

- ・ 総会は会務。懇親会はイベント。
- ・ 懇親会固定席は評判はよいが、もっと自由な雰囲気できないか。  
着席 & 立食混合
- ・ 払込取扱票も（郵貯通帳かカードを提示しないと）110 円がかかるようになった。

### ● 会計

- ・ 27% が終身会費済。約 1,900 人が年会費を払ってくれる。MAX380 万円 / 年になる。  
それに対して 2022 年 90 人、23 年 76 人と 100 人切れなど、2012 年以降一度だけ（2016 年）前年より増えた以外はずっと下降線。